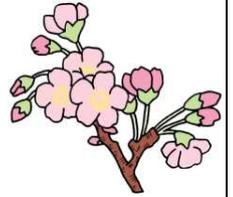


新年度のスタート 「節目」を大切に

4月7日(火)に新年度が始まり、始業式を行いました。新2年生88名、新3年生103名の一人一人が、それぞれの進級という大きな「節目」の新鮮な気持ちを忘れずに、この1年間で様々なことに努力・挑戦をしてほしいと思います。始業式の中で、全生徒に期待することとして、次のような話をしました。



- 出合いを大切にしよう (新しい学年・学級で思いやりのある人間関係をつくろう)
- 自主的な学習習慣を身に付けよう (自分の学年に応じた自主的な学習習慣・態度をつくろう)
- 強い心と体をつくろう (自分自身で心と体を鍛えよう)

新年度の抱負

始業式では新2・3年生と生徒会の代表生徒3人が、それぞれ新年度の抱負を発表してくれました。

岡田 梓 さん(2年生代表) 「2年生の抱負」

今日から新しい学年になりました。みなさんは新学年の抱負は決まりましたか。私はこの長い休みの間に、1年生での生活や学習を振り返り、新しい学年での目標を立てました。

まず、生活面です。一つ目の目標は、手洗いうがいを徹底し、病気を予防するということです。最近感染症が流行しています。病気にかからないように、外から帰ったらしっかり手洗いうがいをしたいと思います。そして健康に気を配り、2年生の学校生活を充実したものにしたいと思います。

次に二つ目の目標は、考えてから行動するということです。小学校とは違い、中学校は先輩後輩がはっきりしているということをこの1年間で感じました。もうすぐ1年生が入学してきて、私たち2年生は初めて先輩になります。自分から行動し、自分の行動に責任をもって、後輩に尊敬される先輩になりたいです。私たちは学年委員会で「自分から いつでも どこでも いいあいさつ」という目標で頑張ってきました。廊下での過ごし方など、けじめのないこともありました。思いやりの心を忘れず、自主自立を心に、東中生らしい生活を心がけたいです。

最後に学習面です。私は、定期テストでこの順位までに入りたいという目標を立てています。1年生の最後のテストで、目標を達成できず順位を下げてしまいました。だからテスト勉強を計画的にやって、目標が達成できるように、授業や家庭学習を充実させていきたいと思います。

2年生では、修学旅行や職場体験、立志式とたくさんの行事があります。1年生の総合的な時間では、ふるさと高鍋のことや修学旅行先のことなどを調べました。このことを学びに発展させて、学習だけでなく、生き方についても考えたいと思います。

新学期になり、不安なこともたくさんありますが、2年生みんなでも乗り越えて、この1年を楽しく、最高の学年だったと言えるような1年間にしたいと思います。

岩切 七樹 さん(3年生代表) 「3年生の抱負」

今日から1学期が始まります。新型コロナウイルスの影響で、2月末から春休みまで1ヶ月以上の休みとなりました。去年までとは異なる状況の中、不安でいっぱいですが、今日から私たちは東中の顔となる3年生へ進級します。2年生、これから入学してくる1年生のお手本とならなければいけません。今まで背中を追いかけてきた「先輩」に今度は私たちがなるのだと、この1ヶ月間実感を高め、3年生で頑張りたいことを考えられた有意義な時間となりました。

私は、1年間で頑張りたいことが二つあります。

一つ目は、「勉強を楽しむ」ということです。私はイラストを描くのが得意で、勉強をするときには、よくイラストを使って、大事なポイントをまとめたノートを作っていました。その結果、その教科の成績を伸ばすことができました。嫌々勉強するのではなく、楽しむことができたからこそ、テスト前だけではなく、毎日の授業や宅習でも積極的に学習することができました。苦手な教科でも、勉強を楽しもうとする気持ちで克服し、入試に向けて頑張ります。

二つ目は、「何事にも挑戦する」ということです。これからの1年、委員会活動や行事、部活動など、挑戦するチャンスはたくさんあります。挑戦することによって自分を大きく成長させることができます。大きく成長するためには、毎日の積み重ねが大切です。私は、ある一定期間だけ挑戦するのではなく、毎日小さな目標を立てて、一日という区切りの中で取り組んでいこうと考えました。「今日」という一日を「昨日の続き」だと思わずに「自分を変えることのできる新しい一日」だと考えて過ごしていきます。

最後の中学校生活という限られた1年間を大切に過ごすことで、私がどれだけ成長し、どれだけ変われるのか楽しみます。1年後の自分がどれだけ、あこがれた先輩方のようになれるよう、この二つのことを一生懸命頑張ります。

